

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	3
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)	改訂版 詳説日本史B (山川出版)				
副教材(出版社)	プロムナード日本史 (浜島書店)				
授業の概要	教科書に沿って本文の内容(日本史概観)を理解する。その中で、単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史的背景や展開、歴史的意義の理解を図る。				
授業の目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会で平和を愛する日本人としての資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	7 幕藩体制の展開 2年次より継続 (1)幕政の安定 (2)経済の発展 (3)元禄文化 8 幕藩体制の動揺 (1)幕政の改革 (2)幕府の衰退と近代化への道 (3)宝暦・天明期の文化・化政文化 9 近代国家の成立 (1)開国・幕末の動乱(2)明治維新・富国強兵 (3)立憲国家の成立と日清戦争 (4)日露戦争と国際関係 (5)近代産業の発展 (6)近代文化の発達	以下の項目に関して、近世武士社会の熟成・衰退・終焉と近代国家の幕開けを理解する。 ・幕政の安定と近世日本の熟成した社会・文化について理解する。幕府と諸藩の改革の特徴を理解する。 ・列強の接近と幕府の衰退を理解する。 ・開国と幕末の動乱の推移を理解する。 ・明治維新の意義と帝国憲法の特徴を理解し、東アジア情勢を考察する。 ・日清・日露戦争の経過と意義を理解する。 ・資本主義社会の成立と発展を理解する。		
	2 学期	10 二つの世界大戦とアジア (1)第一次世界大戦 (2)ワシントン体制 (3)市民生活の変容と大衆文化 (4)恐慌の時代 (5)軍部の台頭 (6)第二次世界大戦 11 占領下の日本 (1)占領と改革 (2)冷戦の開始と講和 12 高度成長の時代 (1)55年体制 (2)経済復興から高度成長へ	以下の項目に関して、日本のファシズムへの道と戦争の惨禍、および戦後社会について理解する。 ・両世界大戦への参加した理由と朝鮮・中国への権益の拡大について理解する。 ・恐慌の背景とその対応について理解する。 ・ファシズム体制の成立過程を理解する。 ・戦後の民主化推進について理解する。 ・保守長期政権の成立と国際関係について理解する		
	3 学期	13 激動する世界と日本 (1)経済大国への道 (2)冷戦終結と日本社会の変容	以下の項目に関して、現代日本の課題を理解する。 ・経済大国から経済的停滞になる過程と日本の国際的役割について理解する。		
観点 別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	日本史の概観への関心と課題意識を深め、意欲的に追究しながら、国際社会に主体的に生きるようとする資質を養う。	日本史から課題を見だし、文化の多様性と現代社会の特質を多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断する。	日本史の諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通し、歴史的な事象を追究する方法を身に付ける。	日本の歴史についての基本的な事柄を、世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				